

令和 5 年 6 月 17 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2021

課題番号：19H01625

研究課題名（和文）女性医療専門職におけるキャリアヒストリー理論の実践的構築および適用に関する研究

研究課題名（英文）Study of the Practical Development and the Application of Career History Theory for the Women Health Professionals.

研究代表者

渡邊 洋子（WATANABE, Yoko）

新潟大学・人文社会科学系・教授

研究者番号：70222411

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 9,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、変化の激しい現代の専門職の生涯キャリアを展望する手立てとして、女性医療専門職を起点に、専門職者が自らのキャリアの軌跡をたどり、振り返りを行う研究/実践方法論の開発に取り組んだ。理論・実践研究から構築した「生涯キャリアヒストリー法」は、lifelong（中長期的視点）とlifewide（仕事と生活含む幅広くとらえる視野）を統合した「生涯」を軸とする省察（振り返り）のメソッドである。2023年3月、省察プロセスと支援法の理論的検討、インタビューやオンラインセミナーの報告等を網羅した共著書『医療専門職のための生涯キャリアヒストリー法—働く人生を振り返り、展望する』（明石書店）を刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現代の専門職者は、高度に複雑化・高度化・多様化する社会変化に即応したスキルや実践知を求められる。このような専門職のキャリア省察ツールとして、成人教育学・専門職教育学上の学術的意義が大きい。近年のコロナ禍では、医療専門職者は日々現場の直近の業務に専心を求められ、先の見通しや中長期的な視野を持ちにくい状況の中、燃え尽き症候群や心身の疲労による休職・退職、就労意欲や将来展望の喪失等も指摘される。専門職者が改めて自らの仕事と生活、周囲との関係性を「生涯」の時間軸でたどり捉え直し、キャリアのリデザインを可能にする点で、専門職人材育成上の社会的意義があり、医療以外の専門職の生涯継続教育にも適用可能である。

研究成果の概要（英文）：In this study, we worked on the development of a research and practice methodology for professionals to trace and reflect on their own career trajectories, starting with female health professionals, as a means of looking at the lifelong careers of professionals in today's rapidly changing world. In March 2023, we conducted a theoretical study of the reflection process and support method. In March 2023, he co-authored a book, "Lifelong Career History Method for Health Professionals: Looking Back and Forward to a Working Life" (Akashi Shoten), which includes a theoretical review of the reflection process and support method, reports from interviews and online seminars, and other information.

研究分野：生涯教育学

キーワード：生涯キャリアヒストリー法 医療専門職 生涯キャリア キャリアヒストリー理論 専門職教育 医学 / 医療者教育 ジェンダー キャリア(リ)デザイン

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

2006年以降、代表者は日本医学教育学会で医学教育専門家認定制度の構築・運営に携わる中で、現代の医療者は常に、専門職としての自己省察、専門職的状况と社会的ニーズに的確に対応できる資質・能力とアイデンティティ、キャリアの能動的な構築・継続を求められる一方で、専門職性（Professionalism）の基軸となる価値観形成に向けた自己省察の機会に乏しい点に注目した。「燃え尽き症候群」「現場撤退」等が問題視され、医療者のキャリア研究がようやく始動する中、専門職の養成・研修の現場、各専門職者の自己形成と自己研鑽において、①生涯を見通した職業継続教育（CPD）の研究手法論、および②自己省察を中核とし、生涯的視野で自らのキャリアを振り返る／見通すための学習手法論が求められると考えた。

また現代の専門職が共通に抱えるこれらの課題が、女性医師や女性看護職など女性医療専門職のキャリアをめぐる問題に顕著に反映される点に注目した。女性医療専門職は、育児や介護など従来女性に期待された家庭役割の再配分が図られないまま、一人の専門職としての現代的課題に直面するからである。代表者は、2013～15年度の科研「日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究」（基盤（B）研究代表者：渡邊洋子 課題番号25285212）に着手する一方で、単著『近代日本の女性専門職教育—生涯教育学から見た東京女子医科大学創立者・吉岡彌生』（明石書店、2014）を刊行した。同書では医師を「女性参入型」専門職（「男性を前提に成立し、後に女性の参入やその増加により一定の構造変容が見られた専門職域」と捉え、女性医師のキャリアや生き方をめぐる問題構造と課題を検討した。他方、看護職は「男性参入型」専門職であり、問題構造と課題が非対称な形で存在している。

以上を踏まえ、代表者は、現代の女性医療専門職の生涯にわたる職業継続教育の課題、特に女性医師のキャリア形成・継続をめぐる実践的課題に注目した2016～19年度の科研「女性医療専門職における生涯継続教育の方法論開発—キャリアヒストリー法の構築と活用」（2016～19年度基盤（B）研究代表者：渡邊洋子 課題番号16H03763）に取り組み、キャリアヒストリー法の開発を試み、その原型を作る共同研究を行った。本研究は、同研究の成果をもとに、同メソッドの理論的基盤を明確にし、バージョンアップさせようとする発展的研究である。

## 2. 研究の目的

本研究では、女性医師や女性看護師など医療専門職の女性たちが、生涯的視野に立って自らのキャリアを形成できるようになるための研究・実践手法論の構築、およびそれに向けて有効かつ効果的な支援を行うための方法的探究を目指している。

本研究は、前掲「女性医療専門職における生涯継続教育の方法論開発—キャリアヒストリー法の構築と活用」において開発した研究／実践方法＝「キャリアヒストリー法」を、医療者養成の現場で、理論的根拠をもって利活用できるメソッドとしてすべく、基盤となる理論の構築、実践的方法論の精緻化と一般化に向けた検討、および専門職や専門職教育の現場における効果的活用法の構築・提起、を目指して取り組んだものである。

## 3. 研究の方法

- (1) 定例研究会の開催
- (2) キャリアヒストリー法のフォーマットおよび実施マニュアルの吟味・改訂
- (3) モニターセッションの実施と振り返りによる(2)の精緻化
- (4) オンライン仕様のセミナー／ワークショップ実施方法の構築
- (5) オンラインセミナー／ワークショップの実施
- (6) 海外の動向調査
- (7) 生涯キャリアヒストリー法の理論的構築と論文化
- (8) 研究成果の共著書へのとりまとめ

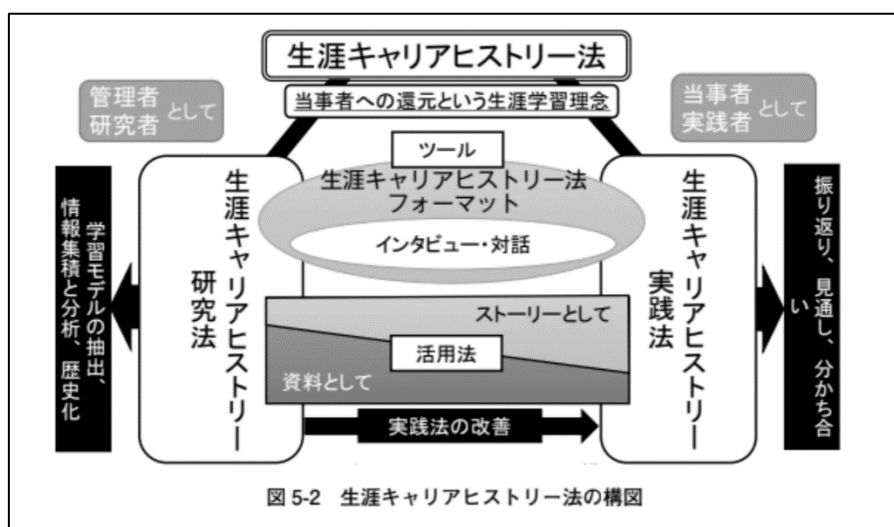
## 4. 研究成果

### 〈研究成果に至る経過〉

2019年度は、キャリアヒストリー法のフォーマットと実施マニュアルの暫定版の試行・検討など、実践研究が順調に進んだが、2020年度に新型コロナウイルス感染症の拡大で対面活動や海外渡航が叶わず、研究全般の軌道修正を余儀なくされた。コロナ禍で多くの医療従事者が目前の医療活動に追われ心身の疲弊が問題視される中、医療専門職が自らの働き方を中長期的な視野で捉え

直し、今後を見通すキャリアヒストリー法の存在意義と貢献可能性の確信を得て、オンライン定例研究会で、オンラインセミナー／ワークショップの開催方法とメソッドとしての精緻化に向けた検討を重ねた。2021年度には看護系研究誌『看護研究』（医学書院）で本研究を紹介する機会を得た。一連の実践研究から、①類似方法論との差別化の必要性、②「生涯」を明確に位置づけたキャリア認識の必要性から、2022年1月に「キャリアヒストリー法」から「生涯キャリアヒストリー法」へと名称を変更した。「生涯」はLifelong（中長期的視点）とLifewide（仕事と生活含む幅広くとらえる視野）の視点を統合するものである。さらにこの名称変更の経緯を跡づけ、実践における省察と省察的思考を成人教育学的視点から考察し、省察プロセスや学習支援者の役割を検討した論文を刊行した。2022年度は、このような「生涯キャリアヒストリー法」について。その趣旨の周知、および趣旨に沿った適正な利活用を促すために商標登録を行った。さらに、出版社に交渉し、以上の理論と実践と本研究への取り組み経緯をまとめた共著書を編集・執筆し、『医療専門職のための生涯キャリアヒストリー法—働く人生を振り返り、展望する』（明石書店、2023年3月、全192頁）として刊行するに至った。

### 《研究成果としての「生涯キャリアヒストリー法」の全体像》



出典：『医療専門職のための生涯キャリアヒストリー法』85頁より転載

### 《具体的な研究成果》

\* 3の研究方法に即してまとめる。

- (1) 定例研究会の開催（計41回）  
2019年度：対面6回、2020年度：オンライン12回、2021年度：オンライン11回、  
2022年度：オンライン12回
- (2) キャリアヒストリー法のフォーマットおよび実施マニュアルの吟味・改訂
- (3) モニターセッションの実施と振り返りによる（2）の精緻化

前の科研で作成したキャリアヒストリー法のフォーマットおよび実施マニュアルの暫定版を、実践場にに合わせて改めて吟味・検討した上で、医療系学生を対象とするモニターセッションを2回（医学生4名・2019年7月、看護学生4名・2020年2月）を実施し、その振り返りをもとに、フォーマットと実施マニュアルの精緻化を行った。これらの完成版とその解説は、（8）の共著『医療専門職のための生涯キャリアヒストリー法』第2部実践編・付録に所収。

- (4) オンライン仕様のセミナー／ワークショップ実施方法の構築

2020年度に実施を予定していたワークショップの対面実施が新型コロナウイルス感染症により不可能になったため、対面の実施方法をオンライン化に対応すべく、検討作業と試行を通して、オンライン仕様の方法論を構築した。

- (5) オンラインセミナー／ワークショップの実施と振り返り

- ① 第53回日本医学教育学会 ワークショップ（2021年7月）  
「キャリアヒストリーで仕事（work）と人生（life）を振り返る」
- ② 医学書院 科研費委託セミナー（2022年2月）  
生涯キャリアヒストリー法研究会主宰オンラインセミナー  
「医療者のための生涯キャリアヒストリー法—医療者としての『これまで』を振り返り、これからを築く」

- ③ 新潟大学医学部医学科医学教育センター ひと尋の会 (2022年3月)  
「生涯キャリアストーリー法とは LIFELONG CAREER HISTORY METHOD — 女性医師の課題点と医療人キャリア教育に向けて」

(6) 海外の動向調査

女性医師の生涯キャリア発達と人的ネットワーキングに関するカナダ現地調査（「カナダ女性医師連盟 (Federation of Medical Women of Canada, FMWC) 第95回年次大会 (2019年9月20日～22日) に代表者と犬塚が参加し、マクマスター大学医学部を訪問して、医師養成に関わるヒアリングを行った。犬塚は前年の第94回大会にも出席している。

(7) 研究成果のとりまとめと公表

【共著書】

渡邊洋子 (編著)・犬塚典子・池田雅則・池田法子・柏木睦月『医療専門職のための生涯キャリアストーリー法—働く人生を振り返り、展望する』、明石書店、2023年、全192頁。

【単著】

渡邊洋子『新版 生涯学習時代の成人教育学—学習者支援へのアドヴォカシー』、明石書店、2023年、400頁 (95頁に、コラム「生涯キャリアストーリー法」を掲載)。

【主な論文】

種村文孝・犬塚典子・池田雅則・池田法子・渡邊洋子「ライフラインチャート活の到達点と課題—女性医療専門職のキャリア研究方法として」『創生ジャーナルHuman and Society』第2巻、新潟大学キャリア創生研究会、2019年、118-129頁。

渡邊洋子「総論 日本の医療専門職の特徴—医師をめぐる多面的考察から」『社会保障研究』3-4、国立社会保障・人口問題研究所、2019年、458-474頁。

池田雅則「看護教員養成所の設置および入学の動態—平成期 (1989-2019) 30年の変化」『創生ジャーナルHuman and Society』第2巻、新潟大学キャリア創生研究会、2019年、130-149頁。

犬塚典子「カナダにおける女性医師の養成と継続専門教育 (CPD)」『田園調布学園大学紀要』13、2019年、133-147頁。

渡邊洋子「医学部入試と医学教育の関連を考える—カナダ・マクマスター大学入学者の属性から」『創生ジャーナルHuman and society』第2巻、新潟大学キャリア創生研究会、2019年、123-130頁

渡邊洋子「医学部入試と医学教育、生涯キャリアをつなぐ初年次教育—カナダ・マクマスター大学の事例から」『創生ジャーナルHuman and Society』第3巻、新潟大学キャリア創生研究会、2020年、93-121頁。

池田雅則・池田法子・種村文孝・犬塚典子・柏木睦月・渡邊洋子「キャリアストーリー法の構築—看護職のためのヒアリングシートの開発」『看護研究』54 (4)、2021年、352-367頁。

柏木睦月「男性看護師のキャリアに関する研究動向と論点—2000年代以降の文献から」『創生ジャーナルHuman and society』第4巻、2021年、63-74頁。

渡邊洋子・犬塚典子・種村文孝・柏木睦月「専門職者にとっての生涯キャリアストーリー法：名称変更の経緯と背景、および省察ツールの機能と可能性」『創生ジャーナルHuman and Society』第5巻、新潟大学キャリア創生研究会、2022年、78-91頁。

【商標登録】 商標 (第41類 教育、娯楽、スポーツ、文化) 意匠 6575094、2022年6月。

以 上

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計21件（うち査読付論文 16件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 13件）

1. 著者名 渡邊洋子・犬塚典子・種村文孝・柏木睦月	4. 巻 5
2. 論文標題 専門職者にとっての生涯キャリアヒストリー法：名称変更の経緯と背景、および省察ツールの機能と可能性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 78 91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Otaki Junji, Taketomi Kikuko, Shibahara Machiko, Watanabe Yoko, Nagata-Kobayashi Shizuko, Harada Yoshimi, Mitoma Hiroshi	4. 巻 17
2. 論文標題 Factors that hinder medical career aspirations: A nationwide questionnaire survey of teachers in charge of career guidance in Japanese high schools	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0270477 ~ 0488
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1371/journal.pone.0270477	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 犬塚典子	4. 巻 6
2. 論文標題 小学校におけるキャリア教育政策 「生徒指導提要」改訂との関係から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 111 120
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 池田雅則・池田法子・種村文孝・犬塚典子・柏木睦月・渡邊洋子	4. 巻 54(4)
2. 論文標題 キャリアヒストリー法の構築－看護職のためのヒアリングシートの開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 352 367
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊洋子・山本芽衣・湯澤陸・布施英梨花・畠中海斗・堀籠崇	4. 巻 第4巻
2. 論文標題 第4回学生主体キャリアイベント実践報告「Career and Talkキャリアトーク～公務員編～」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 44 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 犬塚典子	4. 巻 0
2. 論文標題 女性の地位向上に向けて 政府調査委員会報告書から半世紀	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本カナダ学会編『現代カナダを知るための60章』明石書店	6. 最初と最後の頁 170-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 犬塚典子	4. 巻 0
2. 論文標題 変わりゆく家族と結婚の形 事実婚・同性カップル・一人暮らし	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本カナダ学会編『現代カナダを知るための60章』明石書店	6. 最初と最後の頁 174-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田法子	4. 巻 0
2. 論文標題 障害児教育における学校と社会の連携に関する研究ー移行期に着目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 京都大学大学院教育学研究科博士論文	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田法子	4. 巻 第41巻
2. 論文標題 特別支援学校高等部における生徒の受入れ状況と実践評価	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 足利短期大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 1 - 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柏木睦月	4. 巻 第4巻
2. 論文標題 男性看護師のキャリアに関する研究動向と論点 - 2000年代以降の文献から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 63 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊洋子	4. 巻 3
2. 論文標題 医学部入試と医学教育、生涯キャリアをつなぐ初年次教育－カナダ・マクマスター大学の事例から－ (研究ノート)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 93 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊洋子	4. 巻 3
2. 論文標題 キャリア直結学部と非直結学部の『文理融合』への視座	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 4 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊洋子	4. 巻 794
2. 論文標題 マイライフヒストリーを人生の礎に(巻頭言)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 We Learn	6. 最初と最後の頁 3 3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池田雅則	4. 巻 27
2. 論文標題 明治期における任官警察官吏の任用と求められた能力	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 兵庫県立大学看護学部地域ケア開発研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1 - 23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池田雅則	4. 巻 10
2. 論文標題 明治期における判任文官の任用ー森林官吏の特別任用制度に注目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育史学会紀要	6. 最初と最後の頁 41 63
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田法子	4. 巻 3
2. 論文標題 1980年代以降の特別支援学校高等部の変遷ー高等部設置率、生徒数、進路状況に着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 126 138
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 渡邊洋子	4. 巻 2
2. 論文標題 医学部入試と医学教育の関連を考えるーカナダマクマスター大学入学者の属性から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 123 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 犬塚典子	4. 巻 13
2. 論文標題 カナダにおける女性医師の要請と継続専門教育 (CPD)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 田園調布学園大学紀要	6. 最初と最後の頁 133 147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田雅則	4. 巻 2
2. 論文標題 看護教員養成所の設置および入学の胴体 平成期 (1989 2019) 30年の変化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Society	6. 最初と最後の頁 130-149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊洋子	4. 巻 3 4
2. 論文標題 総論 日本の医療専門職の特徴ー医師をめぐる多面的考察から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 458 474
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 種村文孝・犬塚典子・池田雅則・池田法子・渡邊洋子	4. 巻 2
2. 論文標題 ライフラインチャート活用の到達点と課題ー女性医療専門職のキャリア研究方法として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 創生ジャーナルHuman and Soceity	6. 最初と最後の頁 118 129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計14件(うち招待講演 8件/うち国際学会 1件)

1. 発表者名 犬塚典子
2. 発表標題 犬塚典子「保育士の継続専門学習 カナダ・オンタリオ州保育士協会の活動」
3. 学会等名 第73回日本保育学会大会、奈良教育大学
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊洋子
2. 発表標題 医学部受験と入学者選抜の間 生涯教育学から見たコンピテンシーの課題
3. 学会等名 日本医学教育学会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊洋子
2. 発表標題 医のプロフェッショナリズム再考 多様性と包摂の立場から
3. 学会等名 日本医学教育学会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊洋子
2. 発表標題 入学者選抜における公正性と多様性; グローバルな視点から
3. 学会等名 日本医学教育学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 種村文孝、犬塚典子、池田雅則、池田法子、柏木睦月、渡邊洋子
2. 発表標題 キャリアヒストリーで仕事 (work) と人生 (life) を振り返る
3. 学会等名 日本医学教育学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田雅則、種村文孝、柏木睦月
2. 発表標題 再発見! わたしの看護職人生 ~ ~キャリアヒストリー法を通して 振り返り、見通す
3. 学会等名 日本看護協会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田雅則、種村文孝、柏木睦月
2. 発表標題 管理者として生涯キャリアを見通し、スタッフのキャリア形成を促す ~キャリアヒストリー法の活用~
3. 学会等名 日本看護協会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Noriko Inuzuka
2. 発表標題 Increasing Representation of Women in Academia: Positive Action in Japan
3. 学会等名 Canadian Society for the Studies of Higher Education (Annual Conference) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊洋子
2. 発表標題 日本の女性医師が抱える課題点と目指すべき医療人キャリア教育
3. 学会等名 熊本大学病院地域医療支援センター (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊洋子・犬塚典子・種村文孝
2. 発表標題 生涯キャリアヒストリーとは
3. 学会等名 医学書院オンラインワークショップ (科研費委託セミナー)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊洋子
2. 発表標題 生涯キャリアヒストリーとはー女性医師の課題点と医療人キャリア教育に向けて
3. 学会等名 新潟大学医学部医学科 ひと尋の会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊洋子
2. 発表標題 男女共同参画社会をどう捉え、どう取り組むか
3. 学会等名 燕市職員研修会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 犬塚典子
2. 発表標題 カナダにおける保育政策－連邦・州政府の新たな関係
3. 学会等名 日本保育学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 犬塚典子
2. 発表標題 カナダにおける就学全教育の発展－オンタリオ州全日制幼稚園政策の10年間
3. 学会等名 日本保育学会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 渡邊洋子（編著）、犬塚典子、池田雅則、種村文孝、池田法子、柏木睦月	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 192
3. 書名 医療専門職のための生涯キャリアヒストリー法－働く人生を振り返り、展望する	

1. 著者名 渡邊 洋子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 408
3. 書名 新版 生涯学習時代の成人教育学ー学習者支援へのアドヴォカシー	

1. 著者名 Peter Jarvis(渡邊洋子・犬塚典子監訳、種村文孝・池田法子他4名訳)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 496
3. 書名 成人教育・生涯学習ハンドブックー理論と実践ー	

〔出願〕 計0件

〔取得〕 計1件

産業財産権の名称 商標（第41類 教育、娯楽、スポーツ、文化）	発明者 渡邊洋子（生涯キャリア リアヒストリー法研 究会代表）	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 意匠、6575094	取得年 2022年	国内・外国の別 国内

〔その他〕

<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学書院 科研費委託セミナー（オンラインセミナー）</li> <li>「医療者のための生涯キャリアヒストリー法 医療者としての『これまで』を振り返り、これからを築く」 <a href="https://www.igaku-shoin.co.jp/seminar/detail/220227sem">https://www.igaku-shoin.co.jp/seminar/detail/220227sem</a></li> <li>・明石書店 共著書『医療専門職のための生涯キャリアヒストリー法ー働く人生を振り返り、展望する』<a href="https://www.akashi.co.jp/book/b623327.html">https://www.akashi.co.jp/book/b623327.html</a></li> </ul>
--

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	犬塚 典子  (INUZUKA Noriko)  (70400471)	田園調布学園大学・子ども未来学部・教授    (32720)	
研究分担者	池田 雅則  (IKEDA Masanori)  (60609783)	兵庫県立大学・看護学部・教授    (24506)	
研究分担者	種村 文孝  (TANEMURA Fumitaka)  (80806711)	京都大学・医学研究科・助教    (14301)	
研究分担者	池田 法子  (IKEDA Noriko)  (90827205)	足利短期大学・その他部局等・助教    (42205)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関